

# 熊本市東区まちづくり懇話会報告書 (案)



平成30年1月17日

熊本市東区まちづくり懇話会

## 【目 次】

I	報告にあたって	1
II	協議内容	
1	区提案の取組み	2
	協議事項 ①：東区の経営方針	
	協議事項 ②：東区地域活性化支援事業	
2	東区まちづくり推進事業の検証について	4
	(1) 東区民まつり開催経費	
	(2) 東区民文化スポーツ交流事業	
	(3) 地域情報受発信充実事業	
	(4) 東区地域コミュニティづくり支援補助金	
	(5) 安全安心のまちづくり事業	
	(6) 地域合同訓練事業	
	(7) 子育て支援ネットワーク活性化事業	
	(8) 子どもの遊びプランナー養成事業	
	(9) 地域課題検討会改善策実施経費	
	(10) 熊本市子どもの食育推進ネットワーク（東区役所エリア）を活用した食育の推進	
	(11) 高齢者がいきいきと暮らせる支援体制づくり	
	(12) 東区健康まちづくり活性化経費	
3	その他意見	12

### 【参 考 資 料】

1	熊本市東区まちづくり懇話会設置要綱	13
2	熊本市東区まちづくり懇話会委員一覧	14
3	熊本市東区まちづくり懇話会 審議経過	15

## 【報告にあたって】

(案)

東区まちづくり懇話会では、熊本市東区まちづくりビジョンに基づき、区民の参画による区  
の特性を生かしたまちづくりに関する事項について協議を行ってきた。

今年度についても、東区のまちづくりを推進するにあたっての課題及び東区まちづくり推進  
事業の検証を行い、東区まちづくりビジョンの目標達成に向けて、必要と思われる事項につ  
いて協議を重ねた結果、当懇話会として実施してほしい取組みや方向性、及び東区役所提案  
事項への意見について報告書としてまとめたところである。本報告書に記載の事項について、  
懇話会の意向を十分に尊重し、実現に向け取り組んでいただきたい。

また、平成29年度から地域担当職員が配置されたことにより、校区毎に異なる地域の課題  
や要望を適時に把握し、スピード感をもって対応することができるようになった。

今後、これらの地域課題や要望に的確に応えるためには、行政と住民が地域の情報を共有し  
ながら連携を深めていく必要がある。

合わせて、引き続き、当懇話会でもこれからの東区のまちづくりを進めていくために地域担  
当職員が汲み上げた地域課題や要望等に対して各委員それぞれの専門的な立場から意見や提  
案を出していきたい。

東区役所においても、当懇話会からの意見を踏まえながら、**地域担当職員が**汲み上げた地域  
の課題や要望を積極的に区の施策へ反映させるよう願うものである。

平成30年1月17日

熊本市東区まちづくり懇話会 会長 澤田 道夫

## 1 区提案の取組み

下記の項目について東区役所から協議提案があったため、東区まちづくり懇話会で協議・意見交換を行った。

協議事項 ①	東区の経営方針
<p style="text-align: center;">内 容</p>	<p>【経 緯】            様々な行政課題の中から特に重点的に取り組むべき課題を選定し、その選定した課題を区長のマネージメント（経営）によって解決に向けて取り組む必要が生じた。</p> <p>【経営方針の内容】            (1) 区の防災力の向上</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【提案理由】              熊本地震のような大規模災害に対応できるようになるためには、地域の方々と連携しながら防災力の向上に努める必要があるため。</p> </div> <p>(2) 地域包括ケアシステムの仕組みづくりの推進</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【提案理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の見守りを切り口にして地域のきずなづくりを推進するため。</li> <li>・「2025年問題(※)」に対応するための体制を構築する必要があるため。</li> </ul> </div> <p>(※) 4人に1人が75歳以上となり、国民の医療や介護、福祉サービスの需要が高まり、社会保障財政や担い手不足に陥る問題。</p>
<p style="text-align: center;">懇話会からの            主な意見</p>	<p>(1) 区の防災力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練を通じて「熊本市避難所開設・運営マニュアル」がきちんと機能するのを確認する必要がある。</li> </ul> <p>(2) 地域包括ケアシステムの仕組みづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の理解を浸透させるためには、パンフレットの配布や地域に出向いて説明会を開催するなどの啓発活動が必要。</li> <li>・高齢者サロンの活動が少ない地域に対しては行政の支援が必要ではないのか。</li> </ul>

協議事項 ②	東区地域活性化支援事業														
内 容	<p>地域担当職員が担当校区の地域課題を解決するために地域と協働して地域支援を行い地域の自主自立のまちづくりを進めていくための事業。</p> <p>具体的には、校区毎に異なる地域の課題に対してスピード感をもって臨機応変に応えるため、まちづくりセンター毎に細事業方式（さらに細かく事業を組み立てる）で地域の課題やニーズの解決に取り組んでいく。</p> <table border="1" data-bbox="496 669 1406 1014"> <thead> <tr> <th>細事業名</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校区防災研修会</td> <td>託麻・秋津・東部まちづくりセンター</td> </tr> <tr> <td>校区の町内割入電子地図作成業務委託</td> <td>託麻まちづくりセンター</td> </tr> <tr> <td>ファシリテーター養成講座</td> <td>秋津まちづくりセンター</td> </tr> <tr> <td>東区中学生会議</td> <td>東部まちづくりセンター</td> </tr> <tr> <td>子ども会活性化事業</td> <td>東部まちづくりセンター</td> </tr> <tr> <td>東区まちづくりシンポジウム</td> <td>東区保健子ども課</td> </tr> </tbody> </table>	細事業名	担当課	校区防災研修会	託麻・秋津・東部まちづくりセンター	校区の町内割入電子地図作成業務委託	託麻まちづくりセンター	ファシリテーター養成講座	秋津まちづくりセンター	東区中学生会議	東部まちづくりセンター	子ども会活性化事業	東部まちづくりセンター	東区まちづくりシンポジウム	東区保健子ども課
細事業名	担当課														
校区防災研修会	託麻・秋津・東部まちづくりセンター														
校区の町内割入電子地図作成業務委託	託麻まちづくりセンター														
ファシリテーター養成講座	秋津まちづくりセンター														
東区中学生会議	東部まちづくりセンター														
子ども会活性化事業	東部まちづくりセンター														
東区まちづくりシンポジウム	東区保健子ども課														
懇話会からの主な意見	<p>(1) 校区防災研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害から生命・財産を守るための意識づけとして、今後も講演会の開催を続けてほしい。</li> <li>・避難所運営ゲームは、皆で協力しながら考えることができたため、とてもよい内容だったと思う。</li> </ul> <p>(2) 校区の町内割入電子地図作成業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図の活用によって様々な集いの場が一目で判るようになったり、新たな課題も見えてきたりするため、電子地図の完成を期待している。</li> </ul> <p>(3) 子ども会活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会の活性化は重要であるため、ぜひこの事業を進めてほしい。</li> <li>・子どもの育成や怪我をしたときの対応のためにも経験豊富なプレイリーダーを参加させてはどうだろうか。</li> </ul>														

## 2 東区まちづくり推進事業の検証について

地域ニーズの多様化に対応するために、地域担当職員がファシリテーターになって懇話会委員と一緒にワークショップ形式で既存事業の検証を行った。

なお、事業検証における基準は以下の5つの定義で分類した。

### 【事業検証の定義】

① 継 続	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 来年度も同一内容で事業を実施又は必要に応じて改善していく。</li><li>・ 来年度も事業費は現状維持又は削減に努める。</li></ul>
② 拡大・拡充	下記のいずれかに該当する場合。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 来年度は、事業内容を更に充実させる。</li><li>・ 来年度は、事業規模を更に拡大させる。</li><li>・ 来年度の事業費は、必要に応じて増額させる。</li></ul>
③ 見 直 し	事業内容を根本から再検討する。
④ 縮 小	来年度は、計画の見直しや手法の改善等によって事業の縮小や経費の削減を図り、縮小したものについては、他事業への統合や廃止を検討していく。
⑤ 廃 止	下記のいずれかに該当する場合。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 来年度は事業を一旦中断して、今後の方向性を検討する。</li><li>・ 事業の見直し等により、来年度から他事業へ統合する。</li><li>・ 事業の目的を達成したため、来年度から事業を終了する。</li></ul>

## (1) 東区民まつり開催経費

まちづくり ビジョン	基本方針	1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進
課題 と 今後の方針	<p>区民の交流や相互の連帯をより一層深めるため、行政主体から地域主体の祭りとするのが課題であることから、今年度から実行委員会を立ち上げ、地域の方々と協働で企画運営を行うこととした。</p> <p>「実行委員会」形式を継続するとともに、祭りの運営について地域からのより多くの協力を得るとともに、協賛金や広告料収入を増やすことで自主財源の確保に努めていく。</p>	
懇話会による 検証結果	① 継 続	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の祭りを参考にしながら事業内容を検証してみてもどうか。</li> <li>・区民に広く知ってもらうため祭りの告知方法を工夫する必要があるのではないのか。</li> <li>・交通手段や駐車場の問題を解決すべき。</li> </ul>	

## (2) 東区民文化スポーツ交流事業

まちづくり ビジョン	基本方針	1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進
課題 と 今後の方針	<p>サッカー大会・ミニバレーボール大会については、自主自立のまちづくりを推進する観点から、東区内体協長会やサッカー協会等の関係団体と協議し、運営方法を見直す方向で検討する。</p>	
懇話会による 検証結果	① 継 続	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティの視点から様々な世代の方が参加できるスポーツにするべき。</li> <li>・高齢者などみんなが参加できるようなスポーツも実施してみてもどうか。</li> <li>・競技種目を見直してはどうか。</li> </ul>	

### (3) 地域情報受発信充実事業

まちづくり ビジョン	基本方針	1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進
課 題 と 今後の提案	<p>【課 題】</p> <p>① 区だよりの発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行回数が少ないなどリアルタイム性に欠けており、情報発信が不足している。</li> <li>・若者にあまり読まれていない。</li> </ul> <p>② 広報サポーターの活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化などにより広報サポーターが減少。</li> <li>・学業や仕事の都合等の理由により高齢者しか応募していない。</li> </ul> <p>【今後の提案】</p> <p>① 民間広報誌の活用</p> <p>地域担当職員が地域から収集した地域情報をより効果的に広い世代に情報発信できるよう、来年度以降も市全体の取り組みの中で民間活力を利用した広報誌を活用する予定。</p> <p>② きめ細かな地域情報の発信</p> <p>地域担当職員が活動中の広報サポーターや地域で広く活動している方々と協力しながら、きめ細かな地域情報をリアルタイムで発信していく。</p>	
懇話会による 検証結果	① 継 続	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政だより（東区ページ）の内容をもっと充実させるべき。</li> <li>・掲載の内容を工夫すべき。</li> <li>・各世代に応じた内容を掲載するべきでは。</li> <li>・SNS等の活用も検討するべきでは。</li> </ul>	



#### (4) 東区地域コミュニティづくり支援補助金

まちづくり ビジョン	基本方針	1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	2 地域団体の育成・支援
課題 と 今後の方針	<p>地域の魅力アップに繋がる企画提案がさらに集まるよう、地域へ制度の周知や提案時のサポート体制を強化する必要がある。</p> <p>より多くの企画提案を集めるために、平成 29 年度から設置されたまちづくりセンターと協力しながら当該事業の制度や趣旨を地域の方々に周知する。</p>	
懇話会による 検証結果	② 拡大・拡充	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本制度を更に活用していくためにも、制度の周知方法を工夫していく必要がある。</li> <li>・活動が少ない地域への支援も必要。</li> <li>・ニーズが高いので拡大・拡充をしてほしい。</li> </ul>	

#### (5) 安全安心のまちづくり事業

まちづくり ビジョン	基本方針	2 誰もが安全で安心して過ごせるまち
	重点的テーマ	1 防犯活動の推進、2 交通安全対策の推進
課題 と 今後の方針	<p>東警察署及び校区防犯協会と連携を取りながら、防犯・交通安全意識の向上を促進しているが、更なる周知が必要。</p> <p>より地域に密着した活動を行うために、東警察署及び校区防犯協会との連携を強化すると共に、まちづくりセンターと一体になってキャンペーンや街頭広報を行うことにより、防犯・交通安全に対する区民意識を高める。</p>	
懇話会による 検証結果	① 継 続	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代の参加を促すための工夫や高齢者への啓発が必要では。</li> <li>・防犯協会と様々な団体が連携することが大事。</li> <li>・高齢者への啓発も必要。</li> </ul>	

## (6) 地域合同訓練事業

まちづくり ビジョン	基本方針	2 誰もが安全で安心して過ごせるまち
	重点的テーマ	3 災害に強いまちづくり
課題 と 今後の方針	<p>今まで実施された訓練において、地域住民の防災意識の高揚等に一定の効果はあったものの、熊本地震を経験したことにより、実践に即した訓練内容の見直しが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに策定された本市の地域防災計画に基づき、大規模災害にも円滑に対応できるよう防災訓練を実施する。</li> <li>・校区防災訓練を18校区に拡大していく。</li> </ul>	
懇話会による 検証結果	① 継 続	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態に即した訓練を実施してほしい。</li> <li>・実施していない校区にノウハウ等をアドバイスしてほしい。</li> <li>・校区単位ではなく、マンションや戸建の分譲地など身近な単位での訓練が重要である。</li> <li>・より多くの人に参加し、マンネリ化しないための工夫が必要。</li> </ul>	

## (7) 子育て支援ネットワーク活性化事業

まちづくり ビジョン	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	2 子どもの育成環境づくり
課題 と 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークの活動状況は校区差が大きい。</li> <li>・子育て中の保護者を取り込んだ子育て支援の仕組みづくりが不十分である。</li> <li>・東区子育て支援ネットワーク運営委員会を通し、校区ネットワーク同士の情報共有を図り、校区を越えた相互協力の体制整備を推進することで校区や区の子育てネットワークの活動を充実させる。</li> <li>・子育て中の保護者との協働による子育て支援の仕組み、取組について検討する。</li> </ul>	
懇話会による 検証結果	① 継 続	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発よりも実践的な支援活動に力を入れて欲しい。</li> <li>・親世代への教育も必要。</li> <li>・リーフレットの作成など東区は先進的な取り組みをしている。</li> </ul>	

## (8) 子どもの遊びプランナー養成事業

まちづくり ビジョン	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	2 子どもの育成環境づくり
課題 と 今後の方針	<p>遊びのイベントを実践して終わりではなく、計画→実践を通して、地域の人と人となつながら、コミュニティのきっかけづくりにもなるので、実施する団体の主体的な取り組みが不可欠。</p> <p>次年度以降は、自主自立のまちづくりに向けて、事業の見直しを図りながら、地域の主体的な取り組みを支援するため地域ニーズに柔軟に対応できるよう補助事業の活用等を検討する。</p>	
懇話会による 検証結果	③（廃止を含めた）見直し	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より地域の自主性を生かした活動ができるよう、他制度（東区地域コミュニティづくり支援補助金など）への移行を含めて見直してはどうか。</li> </ul>	

## (9) 地域課題検討会改善策実施経費

まちづくり ビジョン	基本方針	東区まちづくりビジョンの推進に向けて
	重点的テーマ	推進体制
課題 と 今後の方針	<p>これまでは、当事業で東区内の地域のニーズや課題を拾い上げ事業化することで地域の課題解決を図るべく、校区（町内）からモデル校区を募り、モデル事業を実施し一定の成果を挙げてきたところである。しかしながら、地域の抱えるニーズや課題は校区（町内）ごとに違いがあるため、全校区（町内）へのモデルとはなりえないのが実情であった。</p> <p>平成 29 年度にまちづくりセンターが設置されたことにより、「地域担当職員」が地域に飛び込み地域に密着することで、これまで以上に各地域の抱えるニーズや課題にきめ細かい対応をすることが可能となったため、当事業は地域担当職員が校区の課題を解決するための各種支援を協働で行う事業へ統合する方針である。</p>	
懇話会による 検証結果	④ 縮 小	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他制度への移行を含めて、地域課題の収集の仕方や解決方法を見直しては。</li> <li>・それぞれ地域性があるため、モデル地区を作っても意味がないのでは。</li> <li>・地域担当職員が自治会からの悩みを聞いて、課題に対してアドバイスをしては。</li> </ul>	

## (10) 熊本市子どもの食育推進ネットワーク(東区役所エリア) を活用した食育の推進

まちづくり ビジョン	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	1 健康づくり活動の推進、2 子どもの育成環境づくり
課 題 と 今後の方針	<p>災害時にも臨機応変に自己を守る食の選択ができるよう平常時の食育の大切さを共有できたところである。本ネットワークならではの食育に特化した成果物をもとに、より具体的で継続的な活動の活性化のため、支援していく。現状を把握し、次年度以降の「食の備えをしている区民の割合」を増やす。</p>	
懇話会による 検証結果	① 継 続	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門性の高い大学と連携してはどうか。</li> <li>・ 「災害」に限定するのではなく、食育自体の重要性を訴えていくべきでは。</li> <li>・ 災害時の食のあり方は知っておくべき。</li> <li>・ 食育は必要不可欠であるため、地道に活動していく必要がある。</li> <li>・ 耕作放棄地を使用した食育などを行ってはどうか。</li> </ul>	

## (11) 高齢者がいきいきと暮らせる支援体制づくり

まちづくり ビジョン	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	3 みんなで助け合う福祉のまちづくり
課 題 と 今後の方針	<p>認知症への理解浸透事業を通じて、専門職や既存のサポーターへの知識・意識の醸成が図られている。しかし、今後ますます高齢化が進展することから、継続的な事業展開が必要である。【平成31年度まで認知症サポーター数1,000人の養成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民を対象としたシンポジウムを H30 年度以降開催し、より一層の理解促進に努める。</li> <li>・ 地域住民が認知症を理解するうえで即効性のある徘徊模擬訓練については、H30 年度以降各まちづくりセンター所管校区 1 校区ずつの開催を目標とする。</li> </ul>	
懇話会による 検証結果	① 継 続	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校と連携して地域での認知症サポートを広げていきたい。</li> <li>・ たくさんの校区で実施してほしい。</li> <li>・ 家族や町内の理解を向上させるような事業展開を行うべきでは。</li> </ul>	

## (12) 東区健康まちづくり活性化経費

まちづくり ビジョン	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	1 健康づくり活動の推進
課題 と 今後の方針	<p>健康まちづくり推進員協議会の自主的な運営と活動内容のレベルアップを図り、地域活動とのつながりを強化していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康まちづくり推進員養成講座を継続していくことによって、全校区に推進員を確保していく。また、各健康づくりのボランティア組織との連携を図りながら、地域の健康まちづくり活動への参画を推進する。</li> <li>推進員の定例会において、活動内容のレベルアップを図る。</li> <li>協議会の自主・自立の活動へ向けた支援を継続する。</li> </ul>	
懇話会による 検証結果	① 継 続	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康まちづくり推進員の養成だけではなく、推進員が活躍できる場をつくる必要がある。</li> <li>イベント情報をきちんと地域に周知する必要がある。</li> <li>高齢者サロンを全校区・全町内に広げていけたら良い。</li> <li>健康まちづくり推進員の活用の仕方が判らない。</li> <li>学校の空き教室を集いの場にしてはどうか。</li> </ul>	

### (3) その他意見について

#### 【地域交流について】

- ・障がいを持った方と地域の方々との間でスポーツを通じた地域・世代間交流ができないか。
- ・認知症サポーターや健康まちづくり推進員などのサポーターが地域で活躍できるための仕組みづくりを構築すべきでは。
- ・認知症対策は、予防のための取組みが一番重要。もう既に認知症や身体的介護の予防を地域コミュニティの中で取り組むべき時期にきているのでは。

#### 【情報の共有化について】

- ・事業を行う際には地域の方々への情報提供や協力依頼をもっと早く行うべき。
- ・校区自治協議会などの地域団体が取り組んでいる活動内容を洗いざらい調査し、地域と行政が情報を共有化すべきである。

#### 【まちづくりの進め方】

- ・地域やイベント活動は個々に実施するよりも、他の活動とタイアップさせて実施した方がより大きな効果が期待できるのでは。
- ・NPO法人、企業、福祉団体等を活用してはどうか。
- ・子ども会や福祉団体など様々な団体が連携して取り組んだほうがより大きな効果が得られるのではないのか。

## 【参 考 資 料】

### 1 熊本市東区まちづくり懇話会設置要綱

#### 1 設置目的

東区の住民代表で構成される東区まちづくり懇話会（以下「まちづくり懇話会」という。）を設置し、区民の参画によって、東区のまちづくりビジョンに基づく区の特性を生かしたまちづくりに関する事項について協議を行い、区民と区役所の協働により、暮らしやすいまちづくりを推進するもの。

#### 2 まちづくり懇話会の役割

まちづくり懇話会は、市長が委嘱する市民で構成する協議の場として、東区のまちづくりビジョンに基づく区の特性を生かしたまちづくりに関する事項について協議し、その結果を東区長に報告する。

#### 3 設置規定

熊本市東区まちづくり懇話会設置要綱に基づき設置するもの。

「審議会等の設置等に関する指針」に定める『懇談会等』の位置づけとなり、審議会等に含まれる。

#### 4 委員の位置づけ

まちづくり懇話会の委員は、非常勤特別職の位置づけとし、会議出席に対して報酬（日額3千円）を支給する。

#### 5 委員数

委員は、20人以内とする。

※主な構成員は、学識経験者、校区自治協議会会長、公募委員、事業者等

#### 6 会議の開催回数、運営等

- (1) まちづくり懇話会の会議は、原則として年5回開催する。
- (2) まちづくり懇話会に会長及び副会長を置く。
- (3) 会長はまちづくり懇話会を代表し、会務を総理する。
- (4) まちづくり懇話会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- (5) まちづくり懇話会の会議は、公開とする。

#### 7 スケジュール

平成29年度									
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1回開催 (6月29日)			第2回開催 (9月15日)		第3回開催 (10月31日)		第4回開催 (1月17日)		第5回開催 (未定)

## H29 東区まちづくり懇話会委員名簿

(敬称略)

	分野	氏名	性別	所属団体等	役職名
1	学識経験者	澤田 道夫	男	熊本県立大学総合管理学部総合管理学科	准教授
2	地域代表	柳本 克男	男	(託麻まちづくりセンター管内)託麻西校区自治協議会	会長
3		福本 廣人	男	(秋津まちづくりセンター管内)桜木東校区自治協議会	会長
4		松尾 辰藏	男	(東部まちづくりセンター管内)東町校区自治協議会	会長
5	地域防災	倉橋 宏明	男	東区校長会	会長
6		宮下 正一	男	NPO法人日本防災士会・熊本県支部	本部常任理事支部長
7	地域・女性	宮崎 睦子	女	熊本市地域婦人会連絡協議会	桜木校区会長
8	防犯	餅崎 学	男	東地区防犯協会	副会長
9	青少年	桂 ありさ	女	東区PTA連絡会	桜木東小PTA副会長
10	子育て	西原 明優	男	東区子育て支援ネットワーク連絡会	会長
11	自然・環境	松本 信一	男	たくま三山会	会長
12	福祉 (地域福祉)	丸山 透	男	熊本市東区民生委員・児童委員協議会	会長
13	福祉 (包括ケア)	長島 日出子	女	熊本市地域包括支援センターささえりあ託麻	管理者
14	福祉 (障がい)	大島 真樹	女	熊本市障がい者相談支援センター青空	センター長
15	健康	豊田 徳明	男	東区健康を区民とつくるボランティア医師・歯科医師の会	代表
16	商工業	釧羽 逸朗	男	健軍まちづくり推進協議会	会長
17	農業	中川 有朋	男	農事組合法人秋津営農組合	代表理事組合長
18	公募	橋本 博幸	男	一般公募	
19		田口 早苗	女	一般公募	



### 3 熊本市東区まちづくり懇話会 審議経過

会議	開催日時	内容
第1回	6月29日(木)	<p>○議事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員委嘱</li> <li>・ 東区まちづくり懇話会の概要について</li> <li>・ 東区まちづくりビジョンについて</li> <li>・ 東区の経営方針と重点協議事項について</li> <li>・ 平成29年度東区まちづくり推進経費について</li> </ul>
第2回	9月15日(金)	<p>○議事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東区まちづくり推進事業(既存事業)の検証について</li> </ul>
第3回	10月31日(火)	<p>○議事</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成29年度 東区地域活性化支援事業</li> <li>(2) 平成30年度 東区まちづくり推進事業(案)</li> </ol>
第4回	1月17日(水)	<p>○議事</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 熊本市東区まちづくり懇話会報告書(案)</li> <li>(2) まちづくりセンターの活動報告について</li> </ol>
第5回	未定	○新年度事業説明